

第4学年 国語科学習指導案

横浜市立帷子小学校
指導者 依田 康孝

1. 単元名 「だれもがかかわり合えるように」 資料「手と心で読む」
2. 学年・組 第4学年2組 35名
3. 日時 日時・場所 平成25年 11月20日（金）
4. 単元について

（1）児童の実態

本学級の児童は、明るく素直で児童が多く、授業も与えられた課題に対しては進んで取り組む事ができている。しかし、自分で課題を見つけることや、発表に必要な情報を選ぶことなどに苦手意識をもっている児童も多くいる。そこで、資料「手と心で読む」を丁寧に扱い、昨年総合で体験したアイマスク体験や高齢者疑似体験なども思い出しなが児童が自分の興味から課題を見つけることができるよう支援していく。「アップとルーズで伝える」では、学校紹介のリーフレットを作成した。その際、すべての児童がデジタルカメラに触れている。多くの情報の中から一番伝えたいこと決め、聞き手にわかりやすく伝えることを意識しながら、必要な材料を決められるよう声をかけながら進めていく。また課題を見つけ、発表をする一連の学習の中で、自信をもって発表することで得られる達成感も感じられるようにし、今後の活動に生かせる力をつけていきたい

（2）指導内容

本単元では資料「手と心で読む」を導入に用いて、そこから「かかわり合い」についての課題を探し、調査活動を行い、結果を報告するスピーチを行うという構成である。調査活動を通した形でのスピーチであるので、自分で「かかわり合い」についての課題を見つけ、調査し、調べたことをメモして分類・整理する力、話し始めと結びの表現の工夫や事例を挙げたわかりやすい構成や聞き手を意識して話す力、自分の考えと比べながら感想をもって聞く力に重点をおいていく。

（3）テーマに迫るための手立て

◎研究主題

「使う 深める 活用する情報教育」
～情報活用能力の高まり～

○授業における視聴覚教具の活用

本単元では、資料「手と心で読む」を通して、かかわり合いについて考え、自分自身で課題を探し、発表会という形でクラスの友達に調査報告をするという学習である。同じ課題でグループを作り、クラスの友達にむけて発表会をする。発表をするにあたり、友達に調査内容を分かりやすく伝えるための補助的な役割として、必要に応じてデジタルカメラ、テレビ、パソコン、インターネット等を使用する。たとえば発表にデジタルカメラで撮った写真をテレビの大型画面に映すことで、聞き手であるクラスの

友達により正確に伝えることができる。また、撮った写真を発表会で使用する順にパソコンにまとめておくことで、発表会やグループ内での練習もスムーズに行うことができるのではないかと考えている。自分の意見を相手に伝える手段として、様々な方法があるということについては、授業の中で教師が児童に示していきたい。

○活用の視点

- ①デジタルカメラによる記録・保存 → 資料をより正確に伝える。説明の支援
- ②テレビ画面での資料の提示 → 拡大による視覚効果で、児童の考え方をより伝わりやすくする。
- ③インターネットによる情報収集 → 情報を得る支援や必要な情報を選択する
- ④パソコン操作による発表や発表練習の円滑化 → 発表練習をスムーズに行う支援
- ⑤ポスターによる発表 → 資料を大きくわかりやすく伝えやすくする

5. 単元目標

- 関心のあることなどから話題を決め、必要なことを調べて要点をメモすることができる。
- 相手や目的に応じ、理由や事例などを挙げながら、道筋を立て、話し方の工夫を考えて話すことができる
- 話の中心に気をつけて聞き、質問したり、感想を述べたりすることができる。

6. 評価規準

関心・意欲・態度	話す・聞く	伝統的な言語文化と国語の特質に関する指導
①文章を読んで関わり合いについて考え、課題について進んで調べようとしたり友達に分かる様に発表しようとしたりしている。	②内容のまとまりを意識して、まとまりや組み立てが分かる様に話している。 ③発表を聞き、気づいたことや質問したいことをメモに取ったり発言したりしている。	④言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。

7. 単元計画（14／17）

時	学習活動	評価	I C T活用
1	○「関わり合う」ということについて思ったことや考えたこと、知っていることを話し合う。 ○単元のめあてを確認する。	関 「かかわり合い」について調べて発表するという単元の学習を理解し、意欲的に取り組もうとしている 観 察	

2	○資料「手と心で読む」を読み、もっと知りたいことなどを話し合い、学習課題を設定し、学習計画を立てる。	関 資料を読み、学習計画を立て、今後の学習の見通しをもっている [発言・ノート]	
3	○クラスの人に伝えるという相手意識を明確にもち、「関わり合い」について調べたいことと、その具体的な調査内容を決める	話 話し合いを活かしながら、クラスの人と「かかわり合い」について考えを深めるのにふさわしい課題と、その具体内容を設定している。[ワークシート]	
4	○自分の調査内容にふさわしい方法で調査活動の計画を立てたり、わかりやすいメモの取り方を考えたりする。	関 調査内容に合った調査方法を選んだり、記録の仕方を考えたりして調査計画を立てている [ワークシート] 話 分かりやすく、整理しやすいメモのとり方を理解している。[発言]	
5 6 7	○取材活動を行うための注意点を確認する ○相手や目的を意識しながら、計画に沿って、取材活動を行う。	話 クラスでの「かかわり合い」についての考えを深めるための発表会をするという意識をもちながら、調べたことの要点を短い言葉で分かりやすくカードにメモして、計画に沿って調査活動をしている [ワークシート]	○パソコン
8	○取材メモの分類・整理の方法をする。 ○分類・整理して気づいた点などを書き加えたり、みんなに伝えたいことを明らかにしたりする	話 観点を決めてメモを分類・整理し、調べたことや集めた情報から、新たな事実や疑問を見つけたり、課題に即して情報に軽重をつけたりして話したいことをより具体的にしている [ノート]	
9 10	○中村さんの発表の工夫をもとに自分の調査したことの中から、伝えたいことをはっきりさせ、構成を考え、原稿を書く。	話 調査内容や結果と自分の考えとを区別し、構成を工夫して原稿用紙を書いている。[発表原稿]	
11	○より分かりやすい発表にするために、必要な資料を考え、作成する。	関 発表に必要な提示資料について考え、分かりやすい資料を作成している。[提示資料]	○教室テレビ ○パソコン ○デジタルカメラ ○写真 ○ポスター
12 13	○グループに分かれ、発表の仕方に注意しながら発表の練習をする。	話 伝えたい内容に応じて言葉の抑揚や強弱、間のとり方などを工夫し、一人で練習したり、グループで聞き合って、アドバイスをし合ってより良い発表会になるように練習したりしている [発表の練習]	○教室テレビ ○パソコン ○デジタルカメラ ○写真 ○ポスター

14 本 時	ペアグループで発表会のリハーサルをし、よいところや工夫した方がよいところを見つけ、アドバイスをし合う。 ・テレビを使った発表 ・ポスターを使った発表	話話し手は、聞き手の反応を確かめながら、話の内容が伝わるように資料を活かしながら工夫して話している。[発表] 話聞き手は、発表内容と資料に関連づけながら聴き、アドバイスや感想、自分の考えなどを言っている。[観察・発言]	○教室テレビ ○パソコン ○デジタルカメラ ○写真 ○ポスター
15	○リハーサルの内容をふまえて、発表会の練習をする	言 前時のアドバイスを活かして、自分の発表内容を振り返っている。[ノート]	
16	○「かかわり合い」についての発表会を開き、感想交流を行う。	話話し手は、聞き手の反応を確かめながら、話の内容が伝わるように資料を活かしながら工夫してわかりやすく話している。[発表] 話聞き手はメモを取りながら聴き、内容面と表現面との両面から良い点を見つけたり、自分の考えと比べて感想をもったりしている。[観察・発言]	○教室テレビ ○パソコン ○デジタルカメラ ○写真 ○ポスター
17	○「かかわり合い」について調査や発表をして考えたことを交流し、単元の振り返りをする。	話 調査活動や発表会を通して「かかわり合い」について考えたことを交流し、交流によって深まった自分の考えを書いたり、この単元で自分に身に付いた力を五つの視点で書いたりして、単元全体を振り返っている。[ノート]	

8. 本時目標

○相手意識をもって、聞き手の反応を確かめながら、話の内容が伝わるように資料を活かしながら工夫して話す。

○聞き手は、発表内容と資料を関連づけながら聴き、アドバイスや感想、自分の考えなどを言う。

9. 本時展開 (15 / 17)

学習活動と内容	○支援と◎評価《評価方法》
1. めあての確認を行う。 ペアグループで発表会のリハーサルをし、よいところや工夫した方がよいところを見つけ、アドバイスをし合おう。 2. 発表をする話し手や、聞き手のポイントの確認を行う。 基本的な話し方について ・聞いている人の興味を引くような話し始めの工夫 ・何を調べたのか ・どうやって調べたのか。 ・調べてわかったこと ・考えたことや今後のこと 3 ペアになって発表会のリハーサルをする。 ・テレビを使った発表をする。 点字を作った人 点字について 身近にある点字 ・ポスターを使った発表をする。 町の中にあるバリアフリー 盲導犬・聴導犬について 4 発表を聞いて良かった点や工夫した方がよい点を出し合う。 ・本物の点字があってわかりやすい。 ・街の点字がある場所について地図に書き込んで提示するとさらに分かりやすくなると思う。 ・発表をする時に、間をあけてゆっくり話すと、さらに伝わりやすくなるよ。 ・目線に気をつけて、聞き手をしっかりと見て発表するように気をつけていこうよ。	○聞き手のポイントを確認しておく。 ・内容についてと発表の仕方について区別してアドバイスできるよう観点をはっきりしておく。 ・基本的な話し方について 強弱、抑揚、声の大きさ、間の取り方、 等 ・資料に合った内容か ・発表に資料が活かされているか ○二つの教室に分かれて行う。 ○常に聞き手（クラスの友達）を意識しながら、行うように発表するように声をかける。 ○グループ内で発表の順番を決めておく。 ◎ペアグループで聞き合い、アドバイスをし合ってよりよい発表会になるように練習したりしている。

5 発表をしながら気がついたことやわかったことを全体で共有する。

- ・目線についてアドバイスを受けたので、次の練習からさっそく気をつけたい。
- ・全体的に発表が速いというのがあったので、ゆっくりはっきりと伝わるよう、丁寧に発表しようと思った。
- ・グループの友達に言われて、気づくことがたくさんあったのでよかった。

〈使用する視聴覚機器〉

- ・パソコン
- ・教室テレビ
- ・デジタルカメラ
- ・写真
- ・ポスター
- ・レアリア

板書計画

めあて

ペアグループで発表会のリハーサルをし、よいところや工夫した方がよいところを見つけ、アドバイスをし合おう。

〈話し手のポイント〉

大事なことを落とさずに言う

聞き手の反応を確かめながら

抑揚・大きさ・間の取り方・目線

〈聞き方のポイント〉

○資料に合った内容か

大事なこと（要点）を落とさず聞く

○資料を活かした発表か

資料を指しながら

〈ペアでの発表をしてみての感想・疑問〉

・写真を見ながら発表することができた。

・資料に合った内容で、わかりやすかった。

・聞き手の反応を確かめながら発表することができた。

・ポスター以外の発表もあることがよくわかった。

【場の設定】

4年1組と4年2組を使用し、以下のような場の設定をする。

